

平成19年 11月9日

各 位

会 社 名：株式会社ワコールホールディングス
(コード：3591 東証・大証各第1部)
代表者名：代表取締役社長 塚 本 能 交
問合せ先：経営企画部長 大 谷 郁 夫
(TEL：075-682-1010)

株式交換による株式会社ピーチ・ジョンの完全子会社化に関するお知らせ

平成19年11月9日開催の当社取締役会において、当社は平成20年1月10日を期して、下記のとおり株式交換（以下「本株式交換」といいます。）により株式会社ピーチ・ジョン（以下「ピーチ・ジョン」といいます。）を完全子会社とすることを決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 株式交換による完全子会社化の目的

近年の両社を取り巻く市場環境は、大きく変化しております。国内においては、少子高齢化により両社の主たる顧客である女性人口の年齢構成の変化が始まっており、今後は人口の減少が予想されます。一方で、顧客の嗜好の多様化、流通チャネルの多様化、同業他社及び異業種の参入による競争激化が進んでおり、両社にとって一段と厳しい経営環境となっている中で、お客様のニーズに応えられる付加価値の高い商品の提供や様々な販売チャネルでの事業展開、サービスの質的向上が、ますます必要になっております。また、両社にとりまして、国内の経営環境が厳しくなる中、海外における事業展開が、今後の企業の成長性を維持する上で、重要になってきております。

こうした環境の中で、平成18年6月2日に当社はピーチ・ジョンの発行済株式の49%を取得し、業務提携を開始いたしました。ピーチ・ジョンの独立性を保ちながら、必要な人材の派遣や情報の提供を行う一方、ピーチ・ジョンの強みである通販事業や直営店事業について協力を得てまいりました。その中で、今後、両社の提携をますます深め、経営資源の有効的活用を図ることで、それぞれの事業を補完し国内・海外の市場における販売拡大が可能となると判断し、この度、株式交換によるピーチ・ジョンの完全子会社化により、経営の一体化を進めることといたしました。

百貨店やGMS等への卸事業に強く、幅広い年齢層をターゲットとする従来からのワコールと、通販事業や直営店事業に強く、感性の高い商品を生み出しヤングやヤングキャリア層から高い支持を得ているピーチ・ジョンとが結合することで、効果的に経営資源を投下し、国内市場の急激な変化に対

応するとともに、両社が協力して海外展開を図ることで、当社グループとしての更なる成長を目指していきます。

本株式交換によってピーチ・ジョンは当社の完全子会社となりますが、ピーチ・ジョンは独立した株式会社として存続し、現経営陣による経営体制を続けていきます。

当社グループは、これまでピーチ・ジョンが築いてきた『ピーチ・ジョン』ブランドの価値をグループ内で成長させることによって、グループの目標である『女性に美しくなって貰う』ことで、より広く社会に貢献する企業グループの実現に向けて、企業価値向上に取り組んでまいります。

2. 株式交換の要旨

(1) 株式交換の日程

株式交換決議取締役会	平成19年11月9日(金)
株式交換契約締結	平成19年11月9日(金)
株式交換承認株主総会(株主ピーチ・ジョン)	平成19年12月17日(月)(予定)
株式交換の予定日(効力発生日)	平成20年1月10日(火)
株券交付日	平成20年1月10日(火)(予定)

※なお、株式会社ワコールホールディングスは会社法796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続により、株主総会の承認を得ずに行う予定です。

(2) 株式交換比率

会社名	株式会社ワコールホールディングス (完全親会社)	株式会社ピーチ・ジョン (完全子会社)
株式交換比率	1	7,300

(注) 1. 株式の割当比率

株式会社ピーチ・ジョンの株式1株に対して、株式会社ワコールホールディングスの株式7,300株を割当て交付します。ただし、株式会社ワコールホールディングスが保有する株式会社ピーチ・ジョン株式882株については、株式交換による株式の割当ては行いません。

2. 株式交換により発行する新株式数等

普通株式 3,261,400株

また、株式会社ワコールホールディングスは、その保有する自己株式3,440,000株を株式交換による株式の割当てに充当します。

(3) 株式交換比率の算定根拠等

① 算定の基礎と経緯

本株式交換の株式交換比率（以下「本株式交換比率」といいます。）については、その公平性を担保するための手続きの一環として、第三者機関に本株式交換比率の算定について専門家としての意見を求めることとし、当社は日興コーディアル証券株式会社に本株式交換比率の算定を依頼しました。

日興コーディアル証券株式会社は、当社の株式価値につきましては、上場株式であることから市場株価方式により株式価値評価を行いました。日興コーディアル証券株式会社は参考として検討するためにディスカунテッド・キャッシュフロー方式（以下「DCF方式」といいます。）による評価も行っております。なお、市場株価方式による市場株価の計算対象期間としては、平成19年10月31日を基準日とし、基準日までの直近6ヶ月間、直近3ヶ月間、直近2ヶ月間及び直近1ヶ月間を採用し、当該期間の平均株価（終値単純平均）を用いて株式価値の評価を行っております。

ピーチ・ジョンにつきましては、類似上場企業比較方式及びDCF方式により株式価値評価を行った結果に基づいております。DCF方式による評価において日興コーディアル証券株式会社は、ピーチ・ジョンより提示を受けた利益計画を前提として株式価値評価を行い、その利益計画においては、カタログ販売を主体としつつ、Web販売及び直営店販売の拡大による売上の増加、IT基幹システムの強化等による業務の効率化などを織り込み、平成24年2月期頃までに営業利益が24億円程度になることを見込んでおります。

日興コーディアル証券株式会社は、両社の株式価値評価の結果、ピーチ・ジョン株式1株に対する株式会社ワコールホールディングス株式の割当株数について、類似上場企業比較方式では7,252株～8,261株、DCF方式では7,058株～9,692株と算定し、その算定結果を当社に提出しました。

当社及びピーチ・ジョンは、第三者機関である日興コーディアル証券株式会社から提出を受けた株式交換比率の結果を参考に、両社の財務状況、財務予測等の要因を勘案し、交渉・協議を重ねた結果、本株式交換比率は妥当であると判断し、それぞれ平成19年11月9日に開催された取締役会において、本株式交換比率に基づく本株式交換を決議し、同日両社間で株式交換契約を締結致しました。

なお、本株式交換比率は、その前提となる諸条件に重大な変更が生じた場合には、両社間で協議のうえ、変更することがあります。

② 算定機関との関係

第三者算定機関である日興コーディアル証券株式会社は、当社及びピーチ・ジョンの関連当事者には該当しません。

(4) 株式交換完全子会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 株式交換当事会社の概要

(1) 商号	株式会社ワコールホールディングス (完全親会社) (平成 19 年 3 月 31 日現在)	株式会社ピーチ・ジョン (完全子会社) (平成 19 年 2 月 28 日現在)
(2) 事業内容	インナーウェア、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維製品及び関連製品の製造、卸売り販売及び一部製品の消費者への直接販売	インナーウェア、アウターウェア、その他繊維製品及び関連製品の消費者への直接販売
(3) 設立年月日	昭和 24 年 11 月 1 日	平成 6 年 6 月 1 日
(4) 本店所在地	京都府京都市南区吉祥院中島町 29 番地	東京都渋谷区神宮前六丁目 17 番 11 号
(5) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 塚本 能交	代表取締役社長 野口 美佳
(6) 資本金	13,260 百万円	90 百万円
(7) 発行済株式数	144,016,685 株	1,800 株
(8) 純資産	193,278 百万円 (連結)	5,312 百万円 (単体)
(9) 総資産	250,266 百万円 (連結)	7,698 百万円 (単体)
(10) 決算期	3 月末日	2 月末日
(11) 従業員数	13,397 名 (連結)	139 名 (単体)
(12) 主要取引先	東レ(株) 旭化成(株) 伊藤忠商事(株) その他	(株)M I C (株)ルシアン 伊藤忠商事(株) その他
(13) 大株主及び持株比率	ヒーロー・アンド・カンパニー 13.34% 明治安田生命保険相互会社 4.85% (株)三菱東京 UFJ 銀行 4.85%	野口 美佳 51.00% (株)ワコールホールディングス 49.00%
(14) 主要取引銀行	(株)三菱東京 UFJ 銀行 (株)みずほコーポレート銀行 三菱 UFJ 信託銀行(株)	(株)三菱東京 UFJ 銀行 (株)三井住友銀行
(15) 当事会社間の関係等	資本関係	当社は、ピーチ・ジョンの発行済株式総数の 49.0%の株式を保有しております。
	人的関係	ピーチ・ジョンの取締役 7 人のうち 4 人は当社の取締役との兼務者又は出向者であり、従業員の一部は当社からの出向者です。
	取引関係	相互の通信販売カタログに商材を提供する他、国内外の下着市場におけるシェア拡大を目的に人的資源の交流をベースとして、情報・ノウハウ・生産資源等の相互提供を行っております。
	関連当事者への該当状況	ピーチ・ジョンは当社の持分法適用関連会社です。

(16) 最近3年間の
業 績

(単位：百万円)

決 算 期	株式会社ワコールホールディングス (完全親会社) (連結)			株式会社ピーチ・ジョン (完全子会社) (単体)		
	平成17年 3月期	平成18年 3月期	平成19年 3月期	平成17年 5月期	平成18年 5月期	平成19年 2月期
売 上 高	160,968	164,122	166,410	16,095	17,314	11,835
営 業 利 益	11,766	1,333	12,896	3,333	2,609	992
経 常 利 益	—	—	—	3,427	2,792	1,718
当 期 純 利 益	6,790	2,821	9,029	1,873	1,474	1,098
1株当たり当期純利益 (円)	47.17	19.60	63.18	1,211,164	818,899	610,368
1株当たり配当金(円)	20.00	20.00	22.00	400,000	0	190,000
1株当たり純資産(円)	1,220.93	1,295.72	1,374.89	1,731,235	2,340,990	2,951,359

※ 株式会社ピーチ・ジョンの平成19年2月期は、決算期変更により平成18年6月から平成19年2月までの9ヶ月間となっております。

※ 「1株当たり当期純利益」は、期中平均発行済株式数に基づき算出しております。

※ 当社の業績は米国会計原則に基づく金額であり、経常利益に代えて営業利益を記載しております。

4. 株式交換後の状況

(1) 商号	株式会社ワコールホールディングス
(2) 事業内容	インナーウェア、アウターウェア、スポーツウェア、その他繊維製品及び関連製品の製造、卸売り販売及び一部製品の消費者への直接販売
(3) 本店所在地	京都府京都市南区吉祥院中島町 29 番地
(4) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 塚本 能交
(5) 資本金	13,260 百万円
(6) 総資産	未定 (連結)
(7) 純資産	未定 (連結)
(8) 決算期	3 月末日

(9) 会計処理の概要

単体決算上は、「企業結合に係る会計基準」等に準拠して、パーチェス法が適用されます。また、連結決算上は、米国会計基準書第 141 号「企業結合」に準拠してパーチェス法が適用されるとともに、当該株式交換に伴い発生するのれんは、米国会計基準書第 142 号「のれん及びその他の無形固定資産」に準拠して公正価値に基づく減損会計の対象となります。

(10) 株式交換による業績への影響の見通し

本株式交換が当社の連結業績及び単体業績に与える影響は軽微です。

なお、本日発表しました平成 20 年 3 月期中間決算短信に記載しました通り、本株式交換に伴い、平成 18 年 6 月 2 日に取得しておりましたピーチ・ジョン株式の公正価値評価を実施したところ、実質価額が低下したことが判明しましたので、単体決算では関係会社株式評価損として 4,533 百万円、連結決算では持分法による投資損失として 4,694 百万円を計上いたしました。

以 上